

## OZ PLANTS

GIFU・OZEKI ENGEI

小関園芸  
小関正司

～マニアック路線で小規模でも  
安定した経営を目指す！～

小関園芸は、岐阜県中部の南端に位置する坂祝町にあります。木曽川を挟んで愛知県に接しており、標高は約80m、夏は非常に暑く冬もそこそこ寒いといった、およそ植物の生産には適していない土地に農場があります。



生産面積は露地を合わせても約700坪、家族経営というコンパクトな体制で、鉢花・苗物を生産しています。

経営の二極化が進む昨今、小規模生産者が進むべき道は小回りの効く体制を利用した高単価、嗜好性の高い商品作りと考え、オリジナル商品の開発、大手生産者の手がけない“隙間商品”開発を積極的に行っています。

設立は昭和49年。父が切花生産を数年行った後に始めました。その頃はアザレア、シクラメン等年間通しても数品目のみの生産でしたが、経営移譲後「自分が好きなものを作る」「始めたものは滅多に止めない」といった、私のこだわりにより、品目数はどんどん増え、現在は30以上になりました。



私は、大量生産によるコストダウンではなく、いかに高単価で販売出来るかがポイントだと考えています。そのため、小規模農家であっても低コストで知名度を上げる必要があります。知名度を上げる方策として、自らWebサイトを立ち上げこまめに更新すること、市場等の行う出展料の安い商談会に積極的に参加すること、そして何より、高品質でユーザーニーズに合った商品をしっかり生産することです。その成果は少しずつ表れ、お客様から声をかけて頂けるようになってきました。

主力商品は春のブルーコーラル、春・秋のヒペリカム・シリーズといった“オリジナルのpatent商品”です。



*Evolvulus pilosus 'BlueCoral' (PVP)*

“ブルーコーラル”はアメリカンブルーの枝変わりを利用して固定させた商品で、花数がとても多く、販売開始から8年経ちますが細々と売れ続けています。2006年夏花壇の部での入賞もしました。



*Hypericum calycinum 'Goldform' (PVP)*

ヒペリカムは実を楽しむタイプでなく“カラーリーフ”に特化しています。コンテナ向けポット苗として全6種を生産(内2種がオリジナルpatent種)し、生産量でなくバラエティー(品種数)で勝負しています。

その他ストレプトカルペラ亜属を含むイワタバコ科の植物、2～3年かかる実付き植物など、他社が生産しないものを売れる可能性が低いのに生産したりと、マニアックな路線をまい進しています。

MPS参加のきっかけは、2年間の派米研修にて学んだIPM(Integrated Pest Management)と、知名度アップの一翼をねらったからです。色んな意味でMPSを利用しながら経営の安定につなげていきたいと思っております！